

三原市立宮浦中学校第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

単元名：「災害から自己の生き方を考えよう」

- 1 日 時 : 平成30年10月3日(水) 第2校時
 2 場 所 : 第1音楽室
 3 学年・学級 : 第2学年3組(男子17名 女子24名 計41名)
 4 単元名 : 災害から自己の生き方を考えよう

(1) 単元観

本学年の生徒は1年時に自分たちの住む三原や、宮浦についての良い点、課題点などを新聞記事やインターネット、事業所へのインタビュー体験など様々な方法で情報を収集した。それを模造紙やパンフレット、パワーポイントへまとめたり、発表したりする活動を通して学習してきた。2年時には職場体験学習に取り組み、働くことの意義や社会人としてのマナー等について学習を進めていたが、7月に発生した西日本豪雨災害により、今年度は職場体験学習を行うことが難しくなり、中止せざるを得ない状況となった。

本単元では豪雨災害の体験を踏まえ、三原市の災害の状況や災害に関連する事柄について調べたり、シミュレーションを通して防災意識を高め、防災に関する知識を深めたりしていく。また、学んだ内容を自らの知識として留めるだけでなく他者と協働して地域に発信する活動を通して、積極的に社会に参画しようとする態度などを養うとともに、学ぶことの意義を自覚したり、現在及び将来の自分の生き方につなげたりする内省的な考え方を育成する。

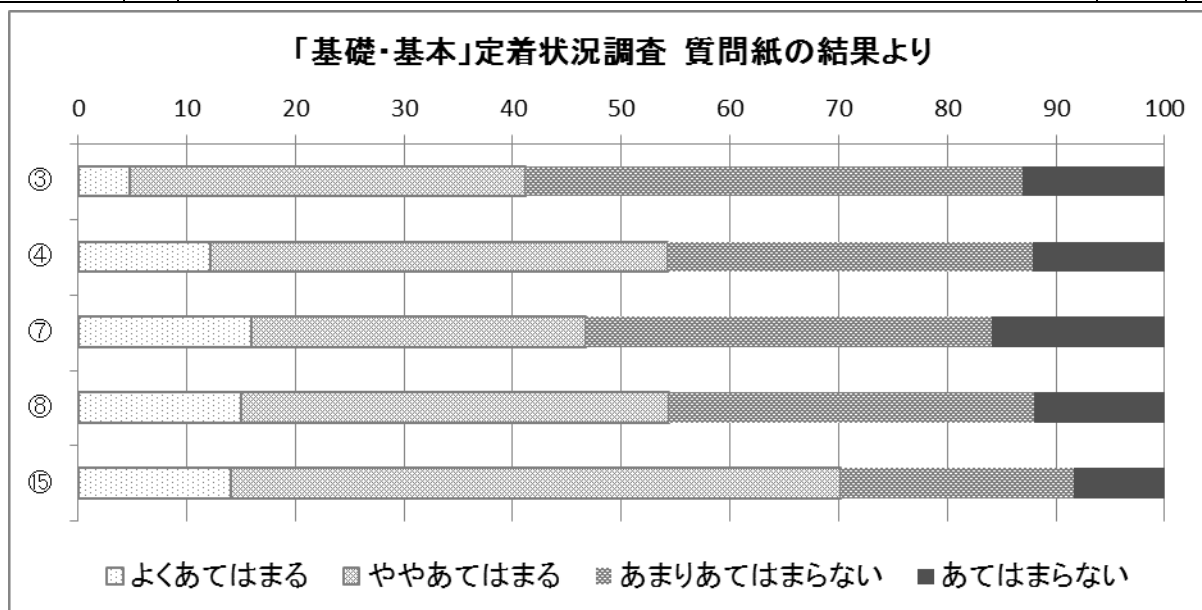
また1年時で学習してきた三原の良い点、課題点についても防災学習を通して改めて実感するとともに、学習を深めることで新たな視点を持つことにより、今後三原の町づくりにどの様にかかわっていくのか社会貢献への意欲と態度を養い、社会の一員としての生徒の意識を一層高めることができる。

(2) 生徒観(調査結果からみる課題)

2年生が6月に行った「基礎・基本」定着状況調査の生徒質問紙の「生活と学習に関する調査」の「課題発見・解決学習」の領域における結果は以下の通りである。

学習過程	内 容		肯定的評価 (%)	
			本校	広島県
課題の設定	①	授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみたい」と思います。	61.7	70.4
	②	授業では、解決しようとする課題について、「たぶんこうではないか」、「こうすればできるのではないか」と予想しています。	73.8	75.9
情報の収集	③	授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	41.1	40.6
	④	授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	54.2	48.4
整理・分析	⑤	授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	54.2	52.4
	⑥	授業では、情報を、比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見つけたり(関連付け)して、何が分かるのかを考えています。	62.6	65.5
まとめ・創造・表現	⑦	授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます。	46.7	59.4
	⑧	授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	54.2	60.7
実行	⑨	授業では、考えたり提案したりしたことについて、実際に取り組んでいます。	66.4	66.5
振り返り	⑩	学習の振り返りをするときには、「どこまでわかったか」「学習の方法でうまくいったこ	72.9	67.3

		とや失敗したことなどの理由」を考えています。		
	⑪	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	63.6	60.8
その他	⑫	ふだんの生活や学習の中で、これまでに学習した内容や学習の進め方を使っています。	78.5	74.3
	⑬	授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	78.5	80.2
	⑭	授業では、実際にものを使ってやってみたり、地域や自然の中で学習したりするなどの体験活動をしています。	62.6	58.3
総合	⑮	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	70.1	67.7



「情報の収集」の項目では、「③授業では、課題を解決するために進んで資料を集めたり取材をしたりしています」の項目は肯定的評価が41.1%、「④授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています」の項目は54.2%と5割程度であり、生徒はどのような方法でどんな情報を収集すればよいのか考えたり、実際に情報を収集したりする経験がまだ少ないことが分かる。

「まとめ・創造・表現」では「⑦授業では自分の考えを積極的に伝えています。」が46.7%と広島県の結果と比較すると12ポイント以上低く、「⑧授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。」も54.2%と低い。このことから、自分の意見をまとめたり、聞き手を意識して表現したりする力が不足していると考えられる。また日頃の様子から、他人任せにしてしまう傾向や、人間関係の希薄さも伺える。

一方、「⑮総合的な学習の時間」に関する質問においては、70.1%とやや高く、課題意識を持ち主体的に活動していると考えられるが、およそ3割の生徒は否定的に捉えている。

また、「社会的事象への関心や体験等」の領域における「地域や子供会などの行事に参加しています。」の項目では、肯定的評価が45.8%と低く、「自分の住んでいる地域のが好きです。」という項目においても70.1%と決して高くない。今回の学習を通して地域への関心を高め、自己の生き方と地域の将来を結び付けて考えていく態度を育てることができると考える。

(3) 指導観(指導改善のポイント)

指導にあたっては、地元三原市で起きた災害を自らの問題として捉え、三原市の課題や自らの課題を見つけ、解決策を探究させるとともに、まとめた情報を地域に発信することで、自らの防災意識だけでなく、地域の防災意識の向上にもつながるよう指導していきたい。また、故郷の様子を見つめ直したり、課題を発見したりする活動を通して、自己の将来について考え、三原でより良く生きていこうとする心情を育てたい。

その手立てとして、思考ツールを活用して、効果的に物事を整理・分析する力を身に付けさせたり、「調べたいことは何か」、「それを調べるためには何を活用したらよいか」などについて確認し、見通しをもたせた上で、生徒自らが情報の収集の方法を考え取り組んでいくように促していく。その際に、他教科での既習事項(国語科：効果的に伝言を伝えるには、社会科：ハザードマップ、理科：天気 等)の情報を活用することに気付かせながら学習を進めさせたい。さらに、まとめたことを多くの人に伝えるためには、どのような手段を用いてどのような表現の工夫を行えば効果的に発信できるか考えさせながら、様々な角度から三原市を見つめることで、三原の課題に気付かせるとともに三原の良さにも気付かせ、自分の生き方と照らし合わせながら故郷についても考えさせたい。

また、本校の研究テーマ「『資質・能力の育成をめざした学びの創造』～コミュニケーションを活用した授業の工夫を通して～」をもとに、グループワークを通して自分の考えを伝えさせ、課題である表現力を育成していくとともに、生徒の発言を繋いでいくような展開を心がけて、様々な意見を引き出しまとめていくような展開にしていきたい。

(4) 本単元において育成しようとする資質・能力

本校で育成しようとする資質・能力は以下の5点である。本単元においては5つの資質・能力をすべて育成する。評価方法・評価規準については「5 単元の目標と評価規準」に記載する。

【知識及び技能】	○知識 ○技能
【思考力・判断力・表現力】	①課題解決能力 ②表現力
【学びに向かう力、人間性等】	③主体性 ④協調性 ⑤公共心

5 単元の目標と評価規準

単元の目標

○身近で起きた災害から、地域の現状を知るとともに、地域の防災について理解し、併せて地域の将来や自らの生き方について考える態度を育てる。

【知識及び技能】	○知識 ○技能	○様々な媒体から三原市の現状について調べ、実態を把握している。 ○思考ツールの種類を理解し、その活用の仕方について理解している。 ○多くの人に情報を発信するための方法や、内容に合わせた表現方法があることを理解している。
【思考力・判断力・表現力】	①課題解決能力 ②表現力	○現状の課題を見つけ、それらを解決するための手立てを意欲的に追及することができる。 ○解決したい内容に合わせて思考ツールを選択したり使ったりして情報を整理・分析することができる。 ○様々な情報を発信するために、情報を精選したり表現の仕方を工夫したりすることができる。

【学びに向かう力, 人間性等】	③主体性	○現状の課題を自らのこととして考え, 意欲的に問題を見つけ, 解決策を探究しようとしている。
	④協調性	○自分と異なる意見や立場を大切に, よりよい解決に向けて協力して取り組もうとしている。
	⑤公共心	○被災者や地域の方々の助けとなるような活動につなげようとしている。 ○三原市の未来像を描きながら課題を捉え, 発信しようとしている。

6 指導と評価の計画

全32時間

次	学習内容 (時数)	育成したい 資質・能力	評価規準 (評価方法)
1 災害から課題を見つけよう	課題の設定 ○西日本豪雨災害の資料より災害の様子について確認し, 自分たちにできることは何か考える。(1)	⑤公共心 ○知識	<ul style="list-style-type: none"> 三原市の災害の様子から, どのような状態であったかを実感し, 自らのこととして捉えている。 様々な媒体から三原市の現状について調べ, 実態を把握している。 (ワークシート, 行動観察)
	課題の設定 ○学習の方向性を決め, 課題解決及び実行までの流れを決める。(2)	①課題解決能力 ③主体性 ○技能	<ul style="list-style-type: none"> 豪雨災害から連想されるキーワードを挙げ, どのようなことについて調べて行けばよいか見極めている。 調べたことをどのような表現方法で発信していくのか, 効果的な方法を見つけている。 思考ツール(ウェビングマップ)を活用してイメージを膨らませることができる。 (ワークシート, 行動観察)
2 課題について調べ考えよう	情報の収集 ○グループで調べる内容を決定し分担する。(1)	①課題解決能力 ③主体性	<ul style="list-style-type: none"> 豪雨災害からキーワードを挙げ, どのようなことについて調べて行けばよいか見極めている。 思考ツールから広げたイメージから, 実際に調べる項目を決定している。(ワークシート, 行動観察)
	情報の収集 整理・分析 ○課題を解決するために必要な情報をグループで集める。(4)	①課題解決能力 ③主体性 ○技能	<ul style="list-style-type: none"> 調べる項目に合わせて調べ方を選択し, 必要な情報を取り出している。 グループにおける自分の役割について理解し, 意欲的に調べている。 インターネットや新聞等を活用して調べることができる。(レポート, 行動観察)
	まとめ・創造・表現 ○調べた内容をクラス発表用にまとめる。(1)	②表現力	<ul style="list-style-type: none"> 調べた内容を相手に分かりやすく説明することができる。(ワークシート, 行動観察)
	まとめ・創造・表現 ○調べたことをクラス内で発表しよう。(1)	④協調性	<ul style="list-style-type: none"> 友達の意見を受け止めながら話を聴き, 意見を伝えることができる。(ワークシート, 行動観察)
	情報の収集 ○新たに発見した課題について調べる。(2)	①課題解決能力 ③主体性	<ul style="list-style-type: none"> 前回見つけた課題について, 具体的に調べることができる。 意欲的に探究活動に取り組んでいる。 (レポート, 行動観察)

	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>○調べた内容を要点を絞ってまとめる。(1)</p>	②表現力	<ul style="list-style-type: none"> 最終的にどのような内容を伝えるのか表現の工夫をしながらまとめることができる。(ワークシート, 行動観察)
3 防災について考えよう	<p>課題の設定</p> <p>○「防災意識チェック」を通して、自分や地域の方々の防災意識についての課題を探る。(1)</p>	⑤公共心	<ul style="list-style-type: none"> 防災に対する自分の意識レベルに気付くとともに家族や地域の方々の防災意識についても考えることができる。(ワークシート, 行動観察)
	<p>情報の収集</p> <p>○防災意識の向上を目指し、防災に対する知識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 模擬的な体験を通して命の大切さについて考える。(1) 災害時に必要なものについて考える。(1) 限られた物資を立場の違いで分けてみよう。(1) 災害時に判断・選択しなければならないことについて考える。(1) 避難所での生活について(外部講師による講演)(2) 	①課題解決能力 ③主体性 ⑤公共心	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識を高め、自らや地域の課題に気付くことができる。 自らのこととして防災学習に取り組んでいる。 自分のことだけでなく、家族や地域の方々の気持ちも考えながら学習を進めることができる。(ワークシート, 行動観察)
4 情報を整理・分析し、 精選しよう	<p>整理・分析</p> <p>○これまでの学習で得た情報を整理・分析し、情報を精選する。(2)【本時 2/2】</p>	①課題解決能力 ②表現力 ⑤公共心	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習から、自分や家族、地域の方々に必要な情報を見極め整理することができる。 どのような内容を表現し発信していくか、根拠をもって精選することができる。 地域の方にとっての課題について考えながら学習することができる。(ワークシート, 行動観察)
5 防災学習を振り返り、 発信しよう	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>○様々な情報を効果的に伝えるためにはどのような工夫をすればよいか考える。(8)</p>	①課題解決能力 ②表現力 ④協調性	<ul style="list-style-type: none"> 相手にとって必要な情報の優先順位を意識しながらまとめたり具体化したりすることができる。 相手に分かりやすくプレゼンテーションするための表現の工夫を探究している。 自分と異なる意見や立場を大切にしながら、よりよい作品にしようとしている。(ワークシート, 行動観察)
	<p>実行</p> <p>○防災学習で学んだことや、地域の方々に伝えたいことを文化祭で発信する。(1)</p>	②表現力	<ul style="list-style-type: none"> 相手の心に残るようなプレゼンテーションができる。(行動観察)
	<p>振り返り</p> <p>○発信した内容や表現の仕方等について振り返る。(1)</p>	①課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> 次に自分たちが出来る何かを発見し、地域に繋げていこうとしている。(ワークシート, 行動観察)

7 本時の展開

○前時の学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (■) (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	○育成しようとする資質・能力 (評価方法)
導入	○本時の目標を確認する。 【本時の目標】 思考ツールを活用して情報を整理・分析しよう		
展開	<p>課題の設定</p> <p>○本時で使用する思考ツールについて確認する。</p> <p>○これまで学習してきた内容について、どの内容を発信していくか、思考ツールを使って考える。</p> <p style="text-align: center;">個人思考</p> <p style="text-align: center;">【主体的に学んでいる姿】</p> <p>・様々な情報について個別に価値観をもち、根拠を見出し言葉で整理しながら、情報を精選している。</p>	<p>■思考ツールはフィッシュボーンを使い、発信する内容を選択する際、どのような根拠のもとに選択したか分析し、表現することを伝える。</p> <p>■発信する相手が全校生徒であるとともに、地域の方や被災者であることを念頭に置いて考えるよう促す。</p> <p>◆授業に遅れがちな生徒には、具体的な考え方や記入例を示し、思考を促す。</p>	<p>①課題解決能力</p> <p>・これまでの学習から、自分や家族、地域の方々に必要な情報を見極め整理することができる。</p> <p>⑤公共心</p> <p>・地域の方にとっての課題について考えながら学習することができる。</p> <p>(行動観察・ワークシート)</p>
まとめ	<p>振り返り</p> <p>○本時の振り返りをする。</p>		

(1) 本時の目標

根拠をもとに、様々な情報の中から必要な情報を選択できる。

(2) 観点別評価規準

◎ これまでの学習から、自分や家族、地域の方々に必要な情報を見極め整理することができる。

◎ どのような内容を表現し発信していくか、根拠をもって精選することができる。

評価方法：ワークシート、行動観察

(3) 準備物

ワークシート, 座標軸, 学習内容プレート, 掲示物

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (■) (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	○育成しようとする資質・能力 (評価方法)
導入	○本時の目標を確認する。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【本時の目標】 根拠をもとに, 様々な情報から必要な情報を選択しよう。 </div>		
展開	課題の設定 ○個人で考えた意見をグループ内で発表し合い, 座標軸を使って発信する内容を精選していく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;"> 集団思考 </div>	■個人の意見を出し合った後に, 座標軸を使って発信する内容を精選し, 発表させる。	②表現力 ・どのような内容を表現し発信していくか, 根拠をもって精選することができる。(行動観察)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【予想される内容】 避難所の場所は発信した方が良いと思います。なぜなら, 災害の種類によって適する避難場所が違うからです。 </div>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【主体的に学んでいる姿】 ・グループでお互いに情報や意見を交流し, 共感したり, 仲間の発表から学ぼうとしている姿。 根拠をもとに情報を精選する姿。 </div>		
	○グループで精選した内容をクラス全体に発表する。 ○各グループの発表を聞いた後で質問や意見を交換して最終的に発信する内容を決定する。	■座標軸を黒板に貼り, 全ての班の意見が視覚的に確認できるようにする。 ■発信内容を精選する際には, 必ず根拠も発表させる。 ■生徒の意見により, 座標軸の右上に示されているプレートを中心に発信する内容を決めていく。	
まとめ	振り返り ○本時の振り返りをする。 ○次回から文化祭等で発信する作品を制作していくことを知る。		

(5) 板書計画

【本時の目標】

根拠をもとに、様々な情報から必要な情報を選択しよう。

